

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	CFT 構造計算規準小委員会	主 査 名：津田恵吾 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：堺 純一
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』を執筆および刊行する。 初年度：『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』の各章の執筆と審議を行う。 2 年度：初年度に引き続き、各章の執筆と審議を行う。 3 年度：『コンクリート充填鋼管構造計算規準・同解説』の原稿を完成させるとともに、本小委員会内および運営委員会、構造本委員会での査読を行う。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：津田恵吾 (北九州市立大学) 幹事：福元敏之 (鹿島建設㈱), 藤永隆 (神戸大学) 委員：池田憲一 (東京理科大学), 伊藤倫夫 (センクシア㈱), 荻野雅士 (㈱日本設計), 河野昭彦 (日本建築総合試験所), 城戸將江 (北九州市立大学), 時野谷浩良 (㈱大林組), 蛭川利彦 (九州大学), 藤本利昭 (日本大学), 松尾真太郎 (九州大学), 吉貝 滋 (鹿島建設㈱)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会での討議により、長く使える規準とするため、1)長周期地震動に対する柱材の保有性能の実験データの蓄積, 2)柱材の変形能力の再評価, 3)耐力評価式の見直し, をすることになったために遅れている。現時点で実験を行っており、設計式に落としこむまで多少の時間が掛かる状況にある。
委員会活動の問題点・課題	1. 特に問題点はないが、刊行予定は2023年度の初頭を予定している。